

平出の田んぼを守る会エコアップ活動報告

実施日 9月2日（日）AM8時～10時 止水に伴うエコアップ作業
参加者 9月2日 大人13名 小学生等7名 計20名
成果 免の内水路 ふな 65匹、たもろこ 22匹、どじょう 84匹、かわむつの稚魚多数、タガメ2匹、タイコウチ1匹、ミズカマキリ1匹、コオイムシ1匹を救出しました。
第1線堀支線（東病院北入口沿い） ふな 110匹、たもろこ 7匹、どじょう 20匹、かわむつの稚魚多数を救出しました。
免の内水路 タガメです



第1線堀支線（東病院北入口沿い）



免の内水路の一部の魚たち



第1線堀支線の魚たち



水生昆虫類



ふな類は第1線堀へ放流しました



水生昆虫はメダカ水路へ



参加者



農業用水路は稲刈りが終わると水を流さなくなります。1 昨年から実施しているエコアップ活動の止水に伴う「生きもの救出」活動では、救出した多数の魚たちは、通年水が確保出来ている第1線堀に放流して命を永らえています。

その結果、8月5日に実施した田んぼまわりの生きもの調査では当地域内4路線（全線土水路で多数のふな（約600匹）やどじょう、たもろこが確認されました。

またタガメやミズカマキリ、タイコウチ等も地域内にあるメダカ里親の会管理の「春の小川」に放流しています。

県内各地でこのようなエコアップ活動が実施されることを期待します。

「平出の田んぼを守る会 事務局長 環境カウンセラー 中荃元一」